

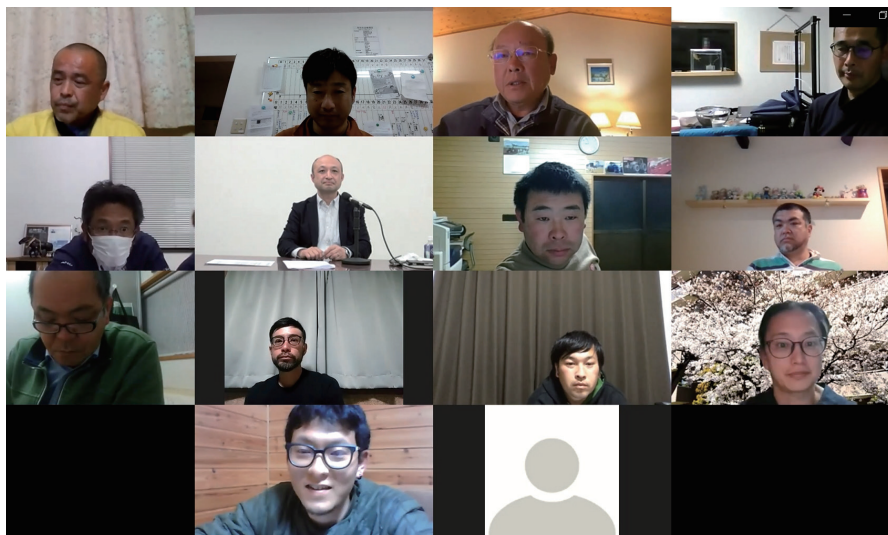
中国四国土を考える会 オンライン総会・研修会を開催しました

2021年4月2日

中国四国土を考える会は、3月27日(土)に総会・研修会をリモートで開催しました。

総会では、数内会長が議長となり、全ての議事は賛成多数で承認され、最終議案として検討された会長及び役員改選では、下記の方々が推薦され、承認を受けました。

会 長 奥山孝明さん(岡山県)【前副会長】
副会長 勝部喜政さん(島根県)【前幹事】
副会長 時光一樹さん(岡山県)【前監査】
監 査 藪内孝弘さん(鳥取県)【前会長】
幹 事 内田雅史さん(鳥取県)【新任】
幹 事 徳永大宜さん(愛媛県)【新任】



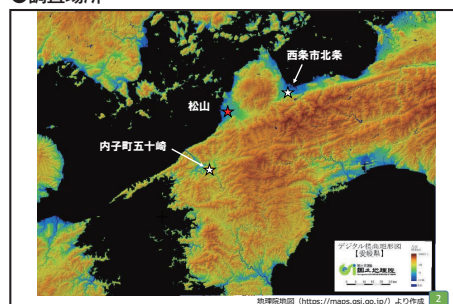
8月上旬に愛媛県での開催を予定している研修会が、新体勢で取り組む最初の事業となります。

総会終了後は、研修会として農研機構 農業環境変動センター(農環研)の前島治先生にご講演を頂きました。

中国四国土を考える会では2017年から「土中環境はモノリスで見えて知る」と題して、会員のほ場で土壌断面調査を行なう研修会を開催してきました。当初講師であった大倉利明先生が2019年4月に永逝され、その後を「一番弟子」である前島先生に引き継いでいただいています。昨年は、2月に愛媛県で6回目の研修会を予定していましたが、コロナ禍により夏期に延期となり、それに向けて前島先生に事前の調査を行っていただきましたが、残念ながらコロナ禍が収まらず夏期の研修会も中止になっておりました。

そのような事情により調査から1年以上経過してしまいましたが、①西条市北条の徳永大宜氏の水田(水稻連作)と、②内子町五十崎のたいよう農園の畑地(キャベツ作後)の土壌断面調査について前島先生にご報告いただきました。

●調査場所



①西条市北条の徳永大宜氏の水田(水稻連作)



②内子町五十崎のたいよう農園の畑地(キャベツ作後)



前島治先生の資料より抜粋

講演の最後に、水田／畑地・果樹園の土壌改良のための機械選択フローチャートが示され、会員の知見を交えて拡充していくことも提案されました。

今回は、最強のグライ土壌(①)と、土づくりが必要な未熟土(②)という新しい土壌断面に出会い、土壌断面調査という一つのテーマを極めるなかで、まさに「継続は力なり」を実感する研修会となりました。

研修会後の情報交換会では、ロボットトラクターを導入された実体験や、GPSガイダンス・自動操舵の話題に花が咲き、コアな情報交換が繰り広げられました。